

平和な世の中へ

渡慶次小学校 六年一組 大川内 颯来

「ここで、八十三名の方が、集団自決で亡くなつたんです。」

私は、息をこらしてガイドさんの話を聞き、ガマの中を見回しました。このガマの中で大ぜいの方が亡くなつたと思うと、胸が痛みました。

私は思います。戦争は、人間も、動物も、植物も、そして、絆も失つてしまふ、おそろ

しく、残酷なものだと。

沖縄戦は、日本で唯一の地上戦でした。戦時中、住民は、身を守るために「ガマ」にかけられ、息をひそめていました。その「ガマ」の中でも有名なのが、「チビチリガマ」と「シムワガマ」だそうです。

「チビチリガマ」には、約百四十人避難していました。でも、そのうちの八十三人は、アメリカ軍に殺されるのをおそれ、「集団自決」によつて亡くなりました。私は、実際

に、平和学習でチビチリガマに行きました。
ガマの中は、とても暗くて、独特のにおいが
しました。
「シムクガマ」には、千人避難していまし
た。ここには、ハワイからの帰国者が二人い
て、その二人が避難者に
「アメリカ人は人を殺さないよ。」
と言い、落ち着かせました。そのおかげで、
千人全員が助かったのです。

今は、家族もいて、おいしいご飯も食べる

ことができ、学校へ通うこともできます。友
達とも遊べます。このような、あたりまえの
ことができるといふことは、とても幸せだな
と思います。

でも、まだ、世界には、内戦をしている国
や、問題をかかえている国もあります。その
ような世界を一つにするには、過去の悲しい
事実、多くの人が犠牲になり、あたりまえの
ことができなかつたころのことをちゃんと受
けとめ、このようなことを二度と起こさない

ようにするには、どうすればよいかを考える
のが一番良い方法だと思います。
二度と戦争を起こさない、平和で明るい世
の中になりたい
という思いをこめて、私は、もくとうをしま
した。